

今月も子どもたちが一生懸命感謝の気持ちを伝えるために頑張りました！！

自分たちの「オリジナル券」を作ろうということで、たくさん考えました。「マッサージ券」「ビールを入れてあげる券」「ダイエットに付き合う券」など、色々な券を考えてくれました。

普段よりおうちの様子が垣間見えたり、やっぱり、子どもたちは家族のことを良く見ていて、大好きなんだな～と再確認できました♡

これからも様々なイベントを計画していますので、楽しみにしててくださいね♪

☆今月はある新聞の教育の記事を載せてみました。参考にしてみてくださいね(o^—^o)☆

勉強についていける？



丹野・白尾さんがアドバイス

丹野 うちの子は勉強についていける？ そんな不安を持つ親は多いはず。

白尾 その答えの前にまず言いたいのは、親は自分の子どもを心配しているように聞こえるけど、実は他の子どもとの比較を始めているんだよね。最初は「名前ぐらいは書けるようになった方がいいかな」という小さな願いが、徐々に「平仮名が全部書けるともつといい」「簡単なたし算やひき算もできると落ちこぼれないかも」となる。1年生から英語を習う学校もあるので、「簡単な英語ができるといい」という期待もあれば、「字はきれいな方がいいから習字も」「水泳ができる」と夏は注目される

よね」と切りがない。あらゆる情報があふれた社会の中で親が心配になり、あるいは自分の子を守ろうとして、習い事に行かせるということもあるかもね。

丹野 でも、入学前から算数も国語もできたら、学校の勉強はつまらないものになるかもなあ。

白尾 早期学習の結果、よい結果に結びつくこともあるだろうけど、「ぼく知ってるもん」という勉強の必要を感じない状態が、家庭学習の習慣を妨げることもつながる可能性もある。

丹野 じゃ、どうしたらいいの？

白尾 答えは家庭にあると思う。これまでの話であったように、テレビをつければなしにしない、ゲームも時間



落ち着く家庭環境が礎

が決まっているという家庭、子ども自身が家族の一員としてやることがある。親とじっくり話せる家庭では、落ち着いた時間が多くなって勉強にも取り組みやすくなる。落ち着いた環境が家庭学習の基本です。

子どもの集中をつくり出す家庭学習を習慣化するには、こんな方法がおススメ！ ①勉強を始める前に水飲みやトイレは済ませ、聞きながら・見ながら・食べながらといった「ながら」勉強はしない②一度に全部やろうとしないで、集中できる範囲を自分で決める③自分で決めた範囲を始めたらずるまでやめない④始めたら途中で時計を見ないで、終わった時にかかった時間を計るーなど。

丹野 だけど、忙しい中でできるのでしょうか？

白尾 子どもがやった勉強を見て、親がひと言、「よくがんばったね」と言うだけでも子どもへの影響は大きいと思う。親にはめられる、認められることの積み重ねが、自信や学習意欲の向上、親への信頼感につながります。

(毎週水曜口播載)

